

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

期日前投票の積極的な活用と

藤川しんいち個人名の徹底を

JAMは津田やたろう参議院議員の任期満了による退任に伴い、藤川しんいち副会長を組織内候補予定者に「やたろうからしんいちへ」のスローガンのもと組織をあげて藤川しんいち政策実現活動の取り組みを進めている。シニアクラブは、いち早く支援を決定することも現役との連携した活動を進めているが活動はまだまだ不足している。

安倍自公政権は、2014年の総選挙で圧倒した。その後の国会

4月14・16日に発生をした平成28年

熊本地震は、地震大国日本を改めて思い起こす震災であり、ご冥福と哀悼の意を表したい。

近年の日本は大きな震災に見舞われ、今後も南海トラフ地震が予測されるなど、原子力発電所の完全な撤廃など、

今までの社会のあり方を問い直す時期にきているのではないか。人口減少と高齢社会、国家財政は巨額の赤字を抱えている

主張



現在、安心して暮らせる社会とはどのような社会保障制度を持つ国

安心して暮らせる社会へ

藤川しんいちを全力で国会に

京都シニアクラブ会長 木村 正次

スを掲げて目先を変えようとしている。政治を変え「ものづくり」「ひとづくり」の「くにづくり」のためJAMシニアクラブの総力で取り組みを進めていく。

料や自己負担の増など財政再建や環境の変化を理由に制度改悪に走り私たちの将来への不安を増幅させている。

一方で、法人税率の引下げや規制・行政手続等々の企業目線での見直しなど世界で最もビジネスしやすい国をめざし改革を断行する等経済政策を優先している。

JAMは2期12年に亘って組織内議員として活躍してきた津田や

たろう参議院議員から藤川しんいち副会長を参議院比例代表選挙候補予定者として決定した。

いまこそ私たちの生活を不安と苦境にする安倍政権の政治の流れを変えなければならぬ。それはJAM組織内議員の議席を継承することから始まる。中小ものづくり産業の職場を知り、働く者の先頭に立ち、私たちシニアの声に耳を傾ける藤

マスコミへの圧力など近年の安倍政権

は、働く者や国民にとって展望の持てる施策はない。

憲法を無視する安倍政権に代わりうる政権を確立するため、来る7月の参

議院議員選挙は国の行く先を決める大きな選挙です。

京都シニアクラブでは「藤川しんいち」予定候補者を国会に送るため、現役労組と連携して全力で取り組み

川しんいち副会長が議席を確保し、やたろうからしんいちへのバトンタッチを実現しなければならぬ。

4月14、16日に熊本地震が発生した。被災地と被災者への支援を急がなければならない。津田やたろう参議院議員は、東日本大震災の時も雇用調整助成金の被災地特例を実現するなど多くの中小企業に働く者の仕事と雇用を守った。

熊本地震においても4月21日、参議院厚生労働委員会で塩崎厚生労働大臣に雇用調整助成金の要件緩和を要請し、翌日には特例措置が講じられた。まさに現場と密接につながり、現場を理解しているJAM組織内議員ならではの対応である。

参議院比例代表選挙は各政党における候補者名簿掲載者のなかから個人名の得票数が多い順に当選が決まる。私たちは選挙に棄権することがないよう期日前投票の積極的な活用と個人名を徹底することが重要である。



シニア事務所で大山会長と

必ず実現!しんいちへの継承 シニア会員の組織力に期待

藤川しんいちの政策

①公正取引・技能継承を進めます。

ものづくり産業に働く仲間のための政策を推進します。中小企業に働く仲間が7割を占める社会で、大手企業と中小企業間の公正取引を確立します。

ものづくりの技能を継承する・技術の能力を高める公的支援を充実します。

②労働者保護ルールの改悪を阻止します。

労働者にとって守られるべき最低のルールが破壊されないよう全力で立ち向かいます。法律を守らないブラック企業の撲滅をめざし、誰もが安心して働ける社会をつくります。

③仕事と生活の調和を実現し、子育て・医療・介護を支援する仕組みをつります。

充実してつながり合う生活・家庭・地域をもとに働くことができる環境をつくります。安心して子育てができる仕組みをつくります。子育て・医療・介護などの課題があっても働ける社会をつくります。

④公平・公正な税・社会保障制度を実現します。

生活・働きに応じて公平に負担する税制をめざします。将来の不安をなくし、安心して暮らせる社会保障制度をつくります。



JAMは、藤川しんいち副会長を組織内候補予定者として、その実現活動に組織をあげて取り組んでいる。組織的な大きなうねりとなりつつあるが、やたらうからしんいちへとバトンをタッチを実現するにはまだまだ足りない。藤川しんいちには比例代表選挙候補予定者である。比例代表選挙では個人名での獲得票数で当落が決まる。シニア会員への藤川しんいちの名前の浸透と支援の拡大を徹底しましょう。

1万人上積み決意



JAM東海単組代表者会議



激励挨拶する大山会長とシニア代表



300名ほどの参加者に思いを届けた 積極投票で個人名を書くことを徹底



九州全国の救援カンパに感謝! 九 会員の安否を確認 激震の被害を抱え再出発へ

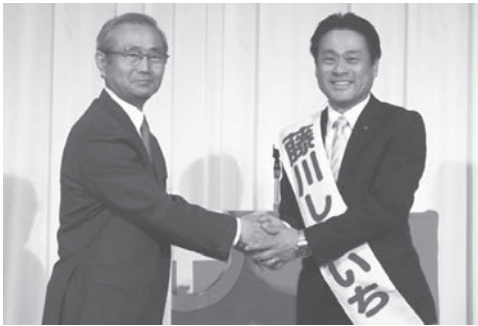
森峰 茂樹通信員

今回の熊本地震にあたり全国で救援カンパを展開して頂いていることに被災地を抱えるシニアクラブとして厚く感謝いたします。4月14日夜の震度7を端初に16日未明にも再び震度7の激震に見舞われた熊本地方ではJAM加盟の6工場が甚大な被害を受け、震源地の益城町に所在する井関農機熊本製作所はようやく5月16日から操業再開の予定だと聞く。

その井関農機退職者の会は熊本県で唯一の私たちの仲間370人の会員を数える。多くの会員が熊本市や益城町に居住しており、その安否が気がかりだった。夜明けを待って、夕部正夫会長宅に電話するも不通で、ようやく元気な声を聞いたのは3日後であった。近所の家屋が倒壊するなかで、耐震構造の会

長宅は損傷を免れたという。停電の影響で電話が通じず、避難生活や車中泊の方もいるらしく会員の安否は不明とのことであった。大型連休が明けて徐々に会員の安否が掴めてきた。幸運にも亡くなられた方や重傷者はいないものの、家屋の倒壊の被害は少なくないようだ。避難生活や親戚に身を寄せる役員も多く、退職者の会幹事会は開けないでいるが、例年6月に開く総会と多数の参加者で賑わう新入会員歓迎会は中止の方向にある。

5月11日には病氣加療のため入院していた夕部会長も退院される、激震の被害を抱え、再出発する井関農機熊本退職者の会だが強固な結束力を誇る会だけに、その歩みは揺るがぬと確信している。



木村正次会長とガッチリと握手(京都)

必ず実現!しんいちへの継承 シニア会員の組織力に期待

藤川しんいちの政策

①公正取引・技能継承を進めます。

ものづくり産業に働く仲間のための政策を推進します。中小企業に働く仲間が7割を占める社会で、大手企業と中小企業間の公正取引を確立します。

ものづくりの技能を継承する・技術の能力を高める公的支援を充実します。

②労働者保護ルールの改悪を阻止します。

労働者にとって守られるべき最低のルールが破壊されないよう全力で立ち向かいます。法律を守らないブラック企業の撲滅をめざし、誰もが安心して働ける社会をつくります。

③仕事と生活の調和を実現し、子育て・医療・介護を支援する仕組みをつります。

充実してつながり合う生活・家庭・地域をもとに働くことができる環境をつくります。安心して子育てができる仕組みをつくります。子育て・医療・介護などの課題があっても働ける社会をつくります。

④公平・公正な税・社会保障制度を実現します。

生活・働きに応じて公平に負担する税制をめざします。将来の不安をなくし、安心して暮らせる社会保障制度をつくります。



JAMは、藤川しんいち副会長を組織内候補予定者として、その実現活動に組織をあげて取り組んでいる。組織的な大きなうねりとなりつつあるが、やたらうからしんいちへとバトンをタッチを実現するにはまだまだ足りない。藤川しんいちには比例代表候補予定者である。比例代表選挙では個人名での獲得票数で当落が決まる。シニア会員への藤川しんいちの名前の浸透と支援の拡大を徹底しましょう。

1万人上積み決意



JAM東海単組代表者会議



激励挨拶する大山会長とシニア代表



200名以上の参加者に思いを届けた 情報提供で個人名を多くを確保



九州全国の救援カンパに感謝! 会員の安否を確認 激震の被害を抱え再出発へ

森峰 茂樹通信員

今回の熊本地震にあたり全国で救援カンパを展開して頂いていることに被災地を抱えるシニアクラブとして厚く感謝いたします。4月14日夜の震度7を端初に16日未明にも再び震度7の激震に見舞われた熊本地方では、JAM加盟の6工場が甚大な被害を受け、震源地の益城町に所在する井関農機熊本製作所はようやく5月16日から操業再開の予定だと聞く。

その井関農機退職者の会は熊本県で唯一の私たちの仲間370人の会員を数える。多くの会員が熊本市や益城町に居住しており、その安否が気がかりだった。夜明けを待って、夕部正夫会長宅に電話するも不通で、ようやく元気な声を聞いたのは3日後であった。近所の家屋が倒壊するなかで、耐震構造の会

大型連休が明けて徐々に会員の安否が掴めてきた。幸運にも亡くなられた方や重傷者はいないものの、家屋の倒壊の被害は少なくないようだ。避難生活や親戚に身を寄せる役員も多く、退職者の会幹事会は開けないでいるが、例年6月に開く総会と多数の参加者で賑わう新入会員歓迎会は中止の方向にある。

5月11日には病氣加療のため入院していた夕部会長も退院される。激震の被害を抱え、再出発する井関農機熊本退職者の会だが強固な結束力を誇る会だけに、その歩みは揺るがぬと確信している。